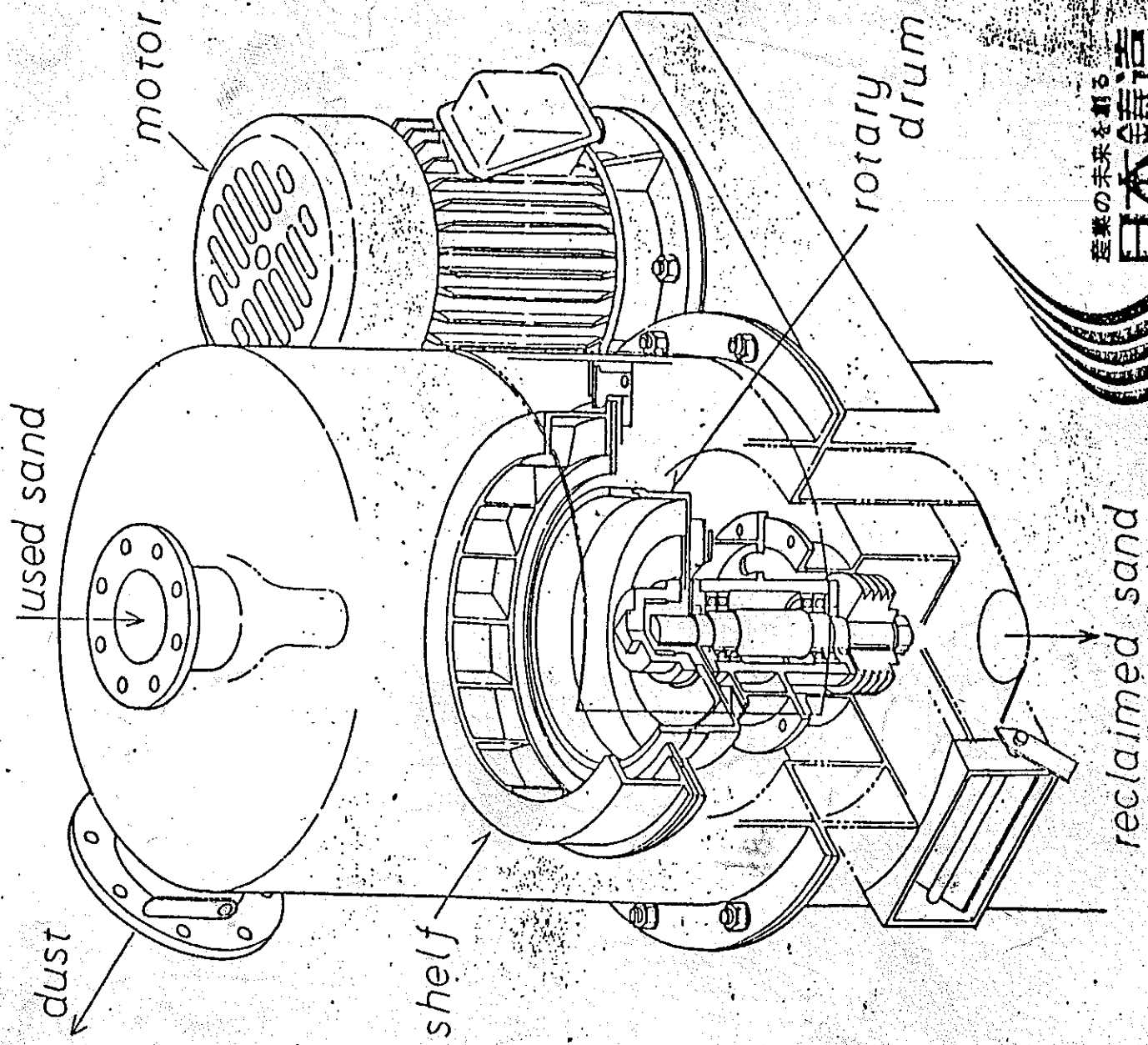

乾式古砂再生装置

M型口-列-ル-マ P.A.I. 1151510

取扱説明書



産業の未来を創る

日本鑄造

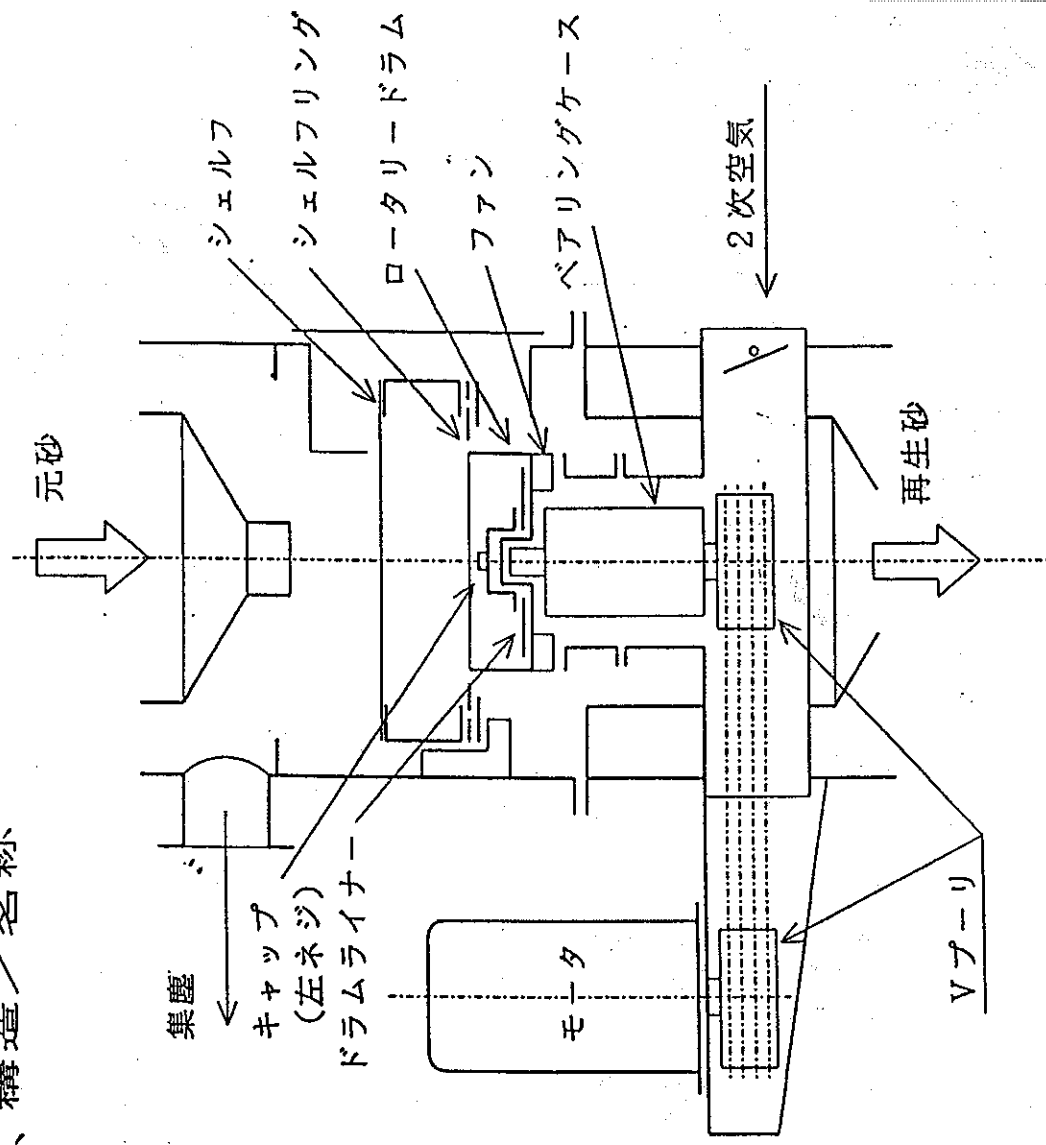
1、はじめに

特許ロータリークレーマは、シンプルでユニークな再生機構により強力な再生から再生までおこなうことができます。また構造がシンプルで、保守や点検が簡単に行えます。本書を良くお読みの上、最適な再生を行ってください。

2、仕様

型式	-----NRR / / M
処理量	----- / T/H (3~4 T/H 3パス~4パス)
動力	----- 30 KW X 4 P X / 台 = 30 KW
電圧	----- 動力 200 V 50 Hz, 制御 100 V 50 Hz
プーリ	----- ドラム側 5 V 溝 180 径
	----- モータ側 5 V 溝 280 径
ベルト	----- 5 V-# 850
ドラム回転数	----- 2290 rpm
集塵風量	----- 15 m ³ /min
付属機器	----- サンドリフター-NSL60
塗装色	----- マンセル

3、構造 / 名称



4、再生原理

A再生

シェルフリングをセットすること、ドラムとシェルフの囲むスペースに砂が滞留します。高速回転するドラムには遠心力により砂の固定層ができます。滞留砂はドラムの回転により渦状に攪拌され、この時、砂同志激しく摩擦が行われます。

連続的に供給される砂は、一定時間滞留したあとシェルフからオーバーフローし次のステップへゆきます。

ドラムの下のファンは、外気を吸い込み機内の周囲に噴射します。砂は、この噴気により粉塵が分離されます。再生力は強力です。

B再生

シェルフリングを取り外しますと、砂は滞留せず連続的にドラムの回転力により弾き飛ばされ、シェルフの内側に衝突し、内側から下に落下します。

上記と同様に、噴気により粉塵が分離されます。

再生力は弱いですが、付着微粉の分離に効果が有ります。

5、運転上の御注意

(1) リクレーマ内に 鉄片、ゴミ、砂塊、湿体砂などがは入りますと詰まるなどして性能に支障をきたしますので、これが入らないようにしてください。

(2) 運転開始

リクレーマ下流→リクレーマ上流→リクレーマ
(砂が入り始めてから10秒～20秒 后)

(3) 運転停止

リクレーマ上流→リクレーマ→リクレーマ下流

(4) 再生程度を一定に保つため、砂の投入を一定連続に行ってください。

6、保守/点検

日常の点検は、消耗部品の点検、Vベルトの張り具合調整、軸受の点検、ゴミなどの詰り有無 などを行ってください。

(1) 消耗品の交換

消耗品は主に、ドラムエッジ、ドラムライナー、シェルフリング、シェルフ、キャップ があります。

交換時期 (使用条件により大きく変わります)

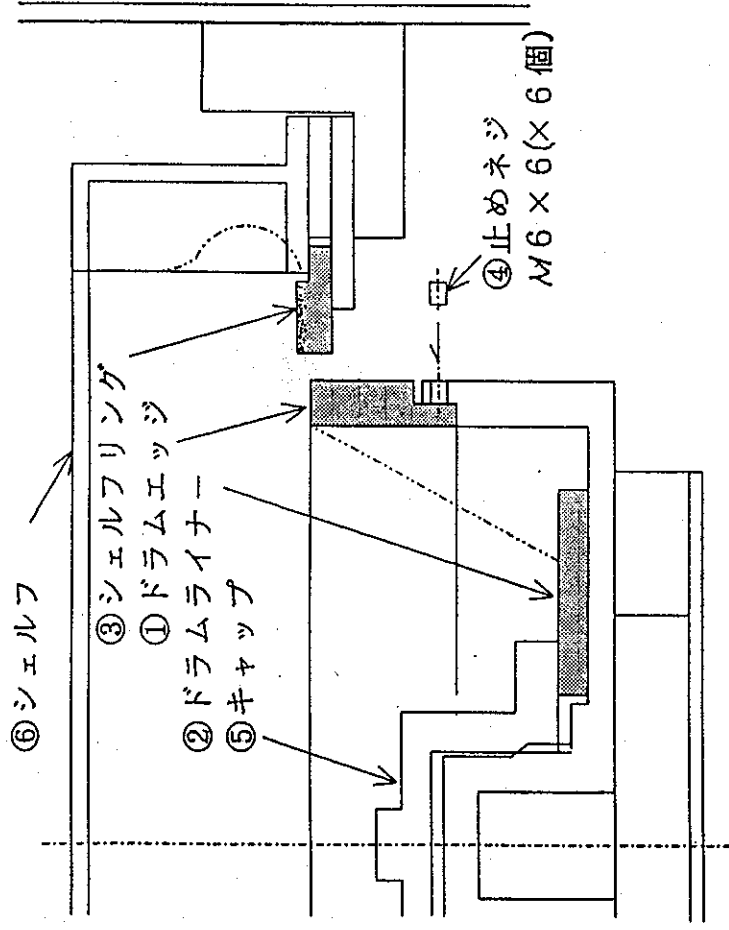
ドラムエッジ --- 350 ~ 700 時間

ドラムライナー --- 350 ~ 600 時間

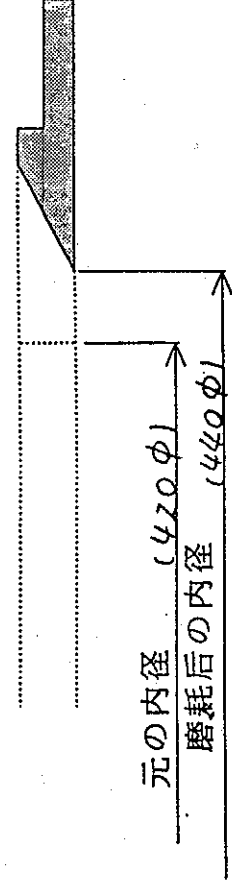
シェルフリング --- 350 ~ 700 時間

(A再生において、ドラムエッジ、シェルフリングは、負荷電流でチェックできます。負荷電流が下がったら交換時期です。)

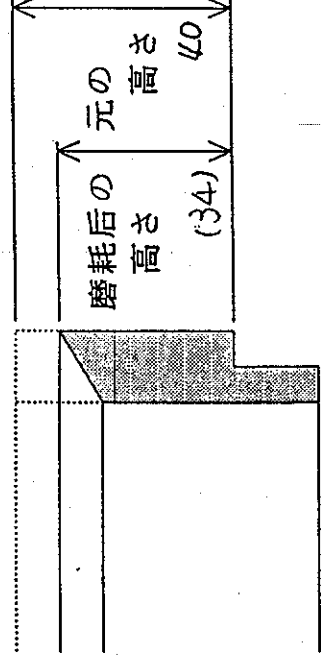
消耗品の磨耗状態



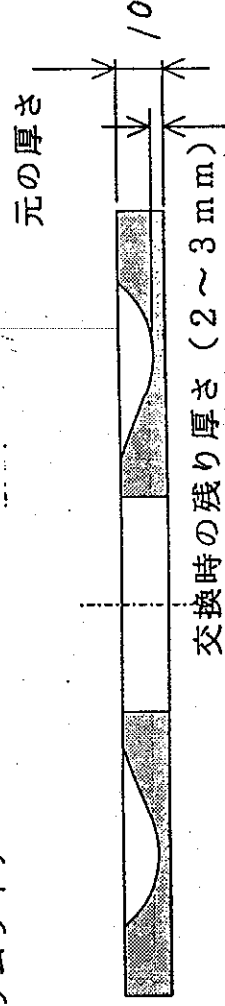
③ シェルフリング



① ドラムエッジ

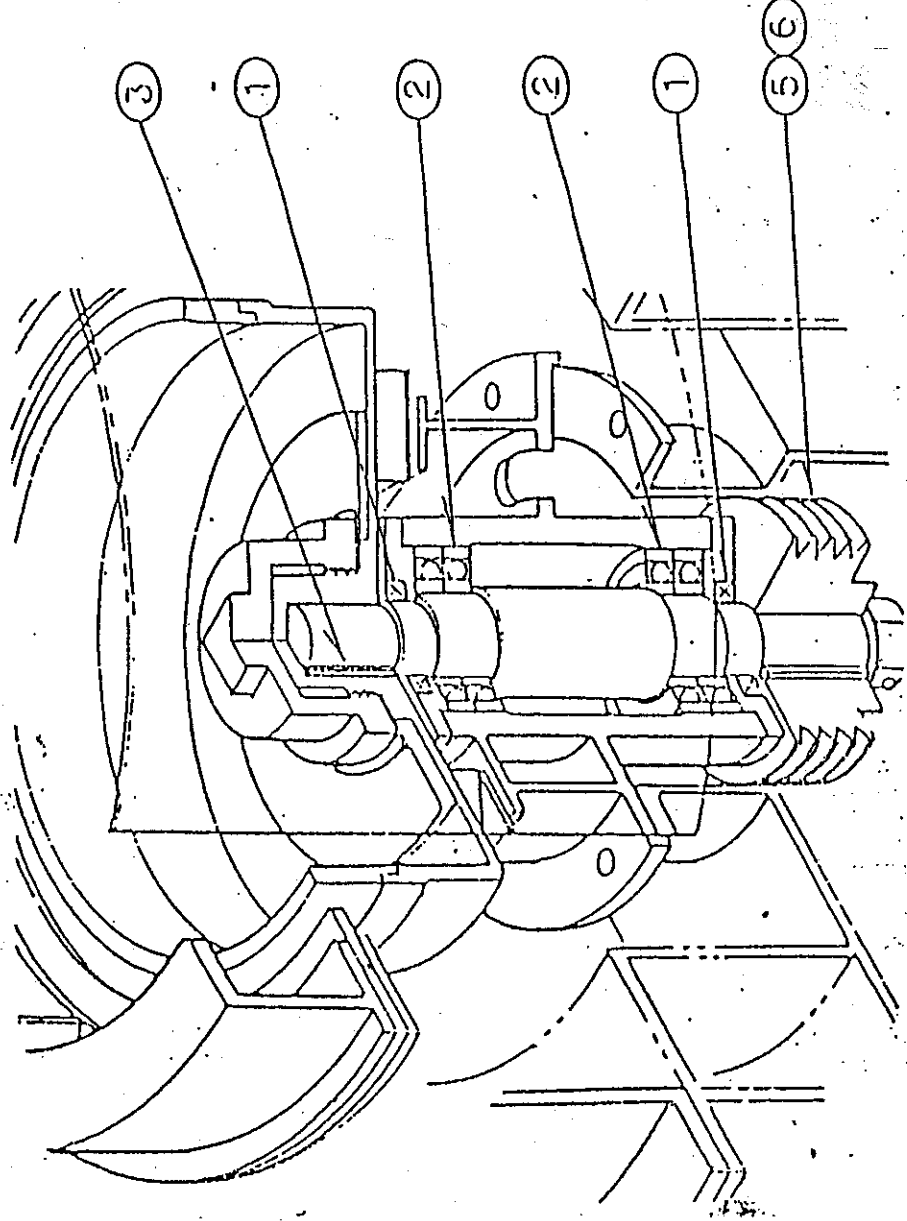


② ドラムライナー



ロ) ベアリングの保守

ベアリングは、シールドベアリングを使用し高品質グリースを封入してあるため、
 日常の補給は必要ありません。グリースを交換する場合は、ベアリングを外し、洗
 浄后新しいグリースを充填して下さい。
 グリースの名柄及び交換期間は、下記表によって下さい。



グリースの種類	交換期間
日石マルチノック2号	約2年
丸善リマックス2 同格品	
日石マルチノックデラックス	約3年
丸善WRグリース2 同格品	

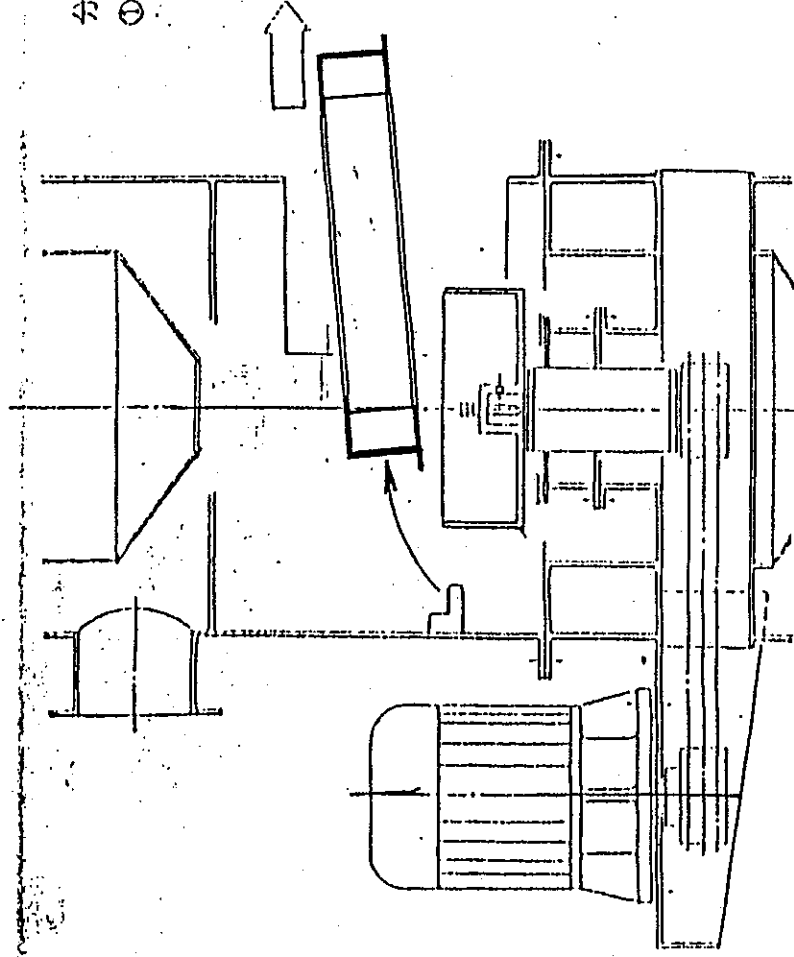
※ 寿命は、6時間/日、22日/月として計算

No	名称	個数	価	考
1	オイルシール	2	TB 58X80 X12	
2	ベアリング	4	6212LLBo r6212VV	
3	キ-	1	16 X10X64 S45C	
4	キ-	1	16 X10X77 S45C	
5	ウェッジベルト	4	5V850-4本マッチドセット	
6	ウェッジブーリ	1	5V X4 X180	

分解手順

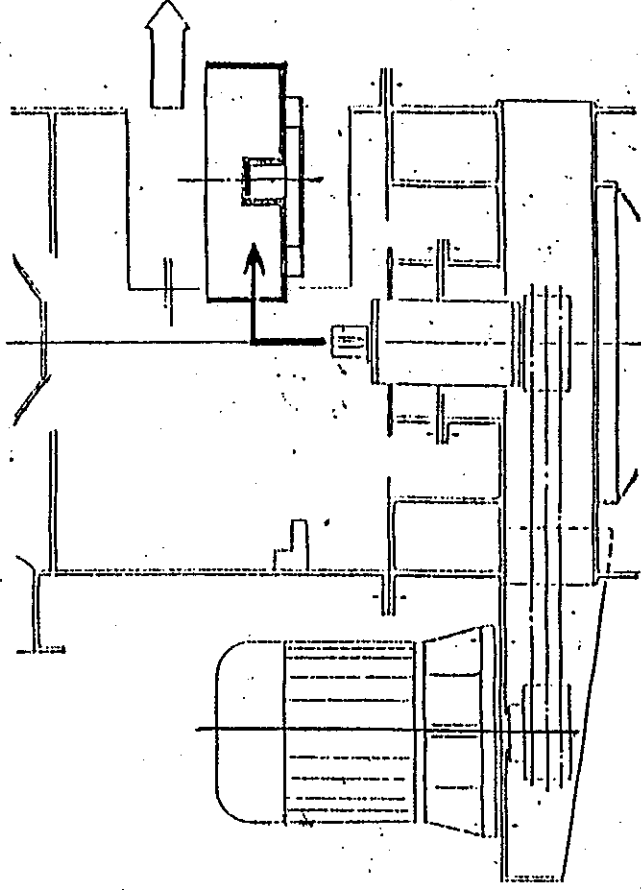
① シェルフ及びシニルフ
リングの取りはずし

シニルフ及びシニルフ
リングは、ブラケット
に乗せてあるだけなの
で持ち上げながら引き
だせば容易に取れ出す
ことができます。



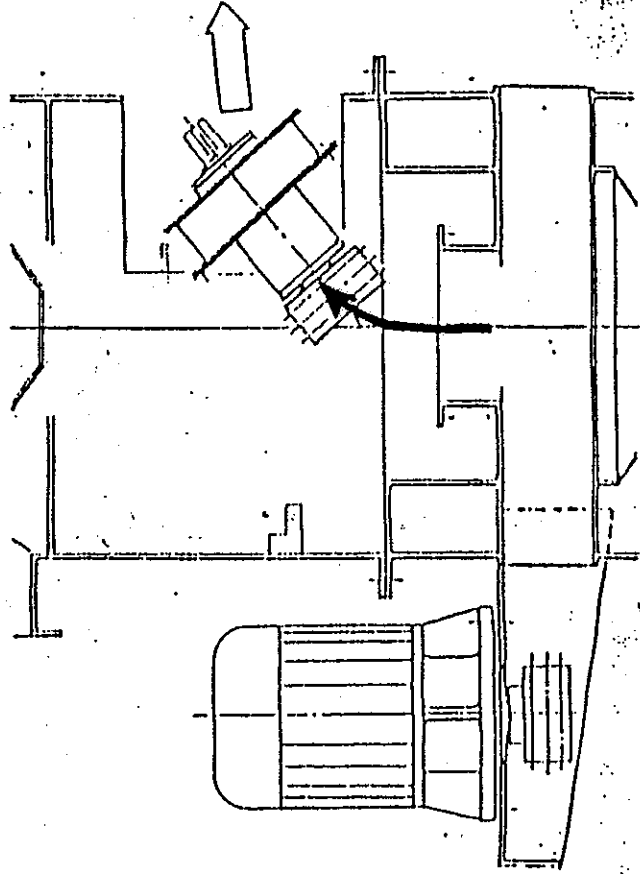
② ロータリードラムの取
りはずし

ドラム内の砂をきれい
に取り除き止ネジを、
ゆるめジャッキボルト
をねじ込めばドラムが
浮き上がります。
ある程度浮き上げて、
両手で引き上げれば、
シャフトからはずれます



③ ベアリングケース取り
はずし

Vベルトをはずしセッ
トボルトを外して両手
で持ち上げながら引き
上げます。



◎ 組立は、逆の順序で行っ
て下さい。

◎ トラブル、原因、対策

トラブル	原因	対策
再生度低下 (A再生度の負荷) (電流値が低い)	ドラムエッジ及び シェルフリング摩耗過多	交換する
	投入量増大 又は過少	調整する
	Vベルトのゆるみ (スリップ)	リ
	投入砂の要因	調整 (水分、未硬化パイ ンダ等) して改善する。
粉塵発生	集塵力低下	集塵機点検 ダクトの詰まり、損傷点検
再生砂の細粒化	砂投入量不足による過剰滞留	正規投入量にする。
	砂強度が弱い	ドラム回転数を落とす。
	集塵力低下による破粉残	集塵機の点検
処理量不足	異物の詰まり	取除く
	砂の流動性が悪い (湿っている等)	改善する
騒音、異常振動	異物侵入	取除く
	ドラム内のアンバランス ベアリング破損	1回清掃する。 交換する。但し破損の原 因を調査する。
	各取付ボルトのゆるみ	締めなおす。
	ブリーラのガタつき	ブリーラ交換
ベルト破断	機内砂詰まりに依るオーバー ロードとベルト部への砂もれ	砂詰まりの原因を取除く (砂塊、ゴミ、湿体砂)
	モーター焼け	リクレーマ後の機器の故 障も点検する。

ロータリーリクレーマ-試験結果表

順 号	項 目	内 容																				
負 荷 運 転 の 前 に	部品実数	各ユニットごとに8ページの各部品を チェックして下さい。																				
	部品のゆるみ	8ページにおける下記部品のゆるみを 各ユニットについてチェックして下さ い。 ⑤ キャップ (左ネジ)																				
	ゴミの有無	投入口及び内部のゴミはきれいに掃除 して下さい。																				
負 荷 運 転	回転方向	矢印方向にして下さい。																				
	異音、振動	異常があったらたちちに停止して原因 を調べて下さい。																				
負 荷 運 転	処 理 量	所定の量に調整して下さい。																				
	ダンパー	初め各段ダンパーを全開にして元ダン パーを調整し、状況により各段ダンパ ー調整して下さい。																				
負 荷 運 転	再生状態 (30KWの時) 200V () 400V	再生状態は電流値でみて下さい。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>HZ 別</th> <th>無負荷</th> <th>B再生</th> <th>A再生</th> <th>定格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>40~50</td> <td>50</td> <td>80~105</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>30~40</td> <td>40</td> <td>70~105</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>20~25</td> <td>25</td> <td>40~53</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table>	HZ 別	無負荷	B再生	A再生	定格	50	40~50	50	80~105	105	60	30~40	40	70~105	105	50	20~25	25	40~53	53
HZ 別	無負荷	B再生	A再生	定格																		
50	40~50	50	80~105	105																		
60	30~40	40	70~105	105																		
50	20~25	25	40~53	53																		

M型ロータリ-リクレーマ 交換プ-リ表

プ-リ 呼び径	R.P.M		ベルト No.
	50HZ	60HZ	
200	----	1940	5V-800
212	----	2060	5V-800
224	----	2180	5V-800
236	1930	2290	5V-800
250	2040	2430	5V-850
265	2160	2580	5V-850
280	2290	----	5V-850
300	2450	----	5V-850
315	2570	----	5V-850

溝数 4溝

モ-タ- 22KW ~ 30KW

サンドリフター取扱説明書

作用

砂は、吹上空気によって上方へ吹上げられバツフル板に衝突します。この時砂と空気流が分離し砂は下方に空気流は上方に行きませんが、微粉は軽いため空気流に乗って集塵されます。

取扱上の注意

1、処理能力以上の供給、あるいは機内の砂つまりによって供給口に砂がつまり、レベルスイッチが作動し、自動的に供給が停止し、警報が出ます。この場合は、次の処置をしてください。

(1) 処理能力の調整

(2) 砂つまり原因の除去

2、集塵風量が不足しますと、排砂口、バツフル板などより粉塵が発生します。必要なら集塵を行ってください。

3、バツフル板は、ゴムを使用しています。砂温70度以上の場合には、鋼板製となります。

セパレータ

消耗品

消耗品は、吹上パイプとバツフル板があります。定期的に、点検してください。通常の使用では、1000時間以上の寿命です。

仕様

型式	NSL 60
能力	3 T/H
プロワ	VB060E
動力	4.5 Kw
電圧	200 V 50 Hz

